

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。特に、ご使用前に「安全上のご注意」（1ページ）を必ずお読みください。保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

■この説明書は必ずお客様にお渡しください。■施工説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。（下記は図記号の一例です。）



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

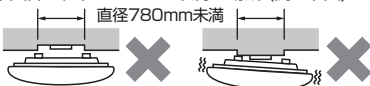
警告

■取付面

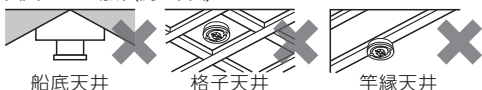
●次のような場所には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

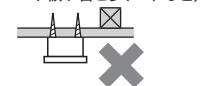
- 平面部が直径780mm未満の場所（例：下図）



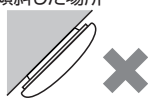
- 凹凸のある場所（例：下図）



- 補強のない場所（ベニヤ板や石膏ボードなど）



- 傾斜した場所



禁止



禁止

◎この器具は水平天井面取り付け専用です。

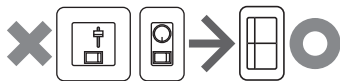
◎半縁天井用アダプタ（別売品番HK9003）を使用した場合は、半縁天井に取り付けできます。詳細は半縁天井用アダプタの取扱説明書をご参照ください。

◎傾斜天井用アダプタ（別売品番HK9039）を使用した場合は、55度までの傾斜天井に取り付けできます。詳細は傾斜天井用アダプタの取扱説明書をご参照ください。

■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する

火災のおそれがあります。



必ず守る

◎販売店、工事店に交換を依頼してください。（取り外しには資格が必要です。）

■その他

●器具を改造したり、部品交換をしない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



分解禁止

■配線器具

●がたついたり、破損している配線器具（ローゼット・引掛シーリング）には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



がたつき・破損

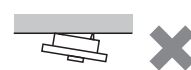
●適正な状態にない配線器具には無理に取り付けない

落下によるけがのおそれがあります。

内装材の重ね貼りなどにより出しろが小さくなったもの



ローゼット10mm未満斜めに取り付けられたもの



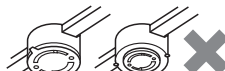
引掛シーリング19mm未満シーリングハンガーが取り付けられたもの



電源端子露出タイプ



ケースウェイに取り付けられたもの



■その他

●交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

●異常を感じた場合、速やかに電源を切る

異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口（保証書内在中）にご相談ください。

●アダプタは確実に取り付ける

落下してけがのおそれがあります。

●本体は確実に取り付ける

破損して感電のおそれがあります。

●本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付ける

破損して感電のおそれがあります。



必ず守る

注意

●照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

◎1年に1回は「安全チェックシート」（保証書内在中）に基づき、自主点検してください。

●付属の梱包材は取り除いて使用する

そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

●カバーは確実に取り付ける

落下してけがのおそれがあります。



必ず守る



接触禁止



水ぬれ禁止



禁止

●点灯中や消灯直後はLEDやその周辺にさわらない

やけどの原因となることがあります。

◎お手入れは電源を切り、LEDやその周辺が冷めてから行ってください。

●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない

火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

●温度の高くなるものを器具の真下に置かない

火災の原因となることがあります。

◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

●カバーを外した状態で点灯したLEDを長時間直視しない

目の痛みの原因となることがあります。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

- 必ず壁スイッチを設けてください。
- ・点灯に異常が発生したとき、リセット操作に壁スイッチが必要です。
- ・長期使用しないときや、お手入れの際に電源を切ることができます。
- ・リモコン送信器の電池が消耗した場合やリモコン送信器を紛失した場合に点灯消灯ができます。
- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 天井の材質や構造によっては、天井面が変色することがあります。
- 停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。
- ・長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
- 壁スイッチがONの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
- LED、常夜灯にはパラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- 他の機器（例えば、スマートフォン・タブレット、3Dテレビなど）から出る赤外線の影響により、リモコンが反応しにくい場合があります。
- 点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。

各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

照明器具

本体取り付け用付属部品

引掛シーリング用
木ネジ(2本)

配線器具
丸型フル引掛
シーリング(1個)

アダプタ(1個)

補修品番NZ2717M

本体

◎器具本体裏面に3カ所
ついている黒スポンジ
は取らないでください。
(本体回転防止のため必要です)

黒スポンジ

常夜灯

リモコン受信器

カバー

コネクタ

LED

施工前に必ず器具を底板(包装材)から取り外してください。

器具を底板から取り外す方法

- ①器具のカバーを外す
☞3ページ「カバーの外しかた」参照
- ②器具中心部のセンターパッド(包装材)の
「押」ボタン部(2カ所)を押しながら本体
を持ち上げる



リモコン付属部品

リモコン(1個)

補修品番
HK9811MM

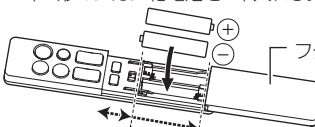
☞操作方法は、
4~5ページ
参照

単4形
マンガン
乾電池
(2本)

リモコン
ボックス
(1個)

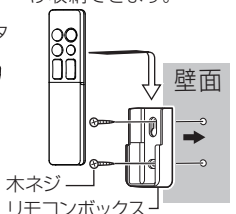
リモコン
ボックス用
木ネジ(2本)

- リモコンのフタを開けて、
単4形マンガン乾電池を2本入れる。



フタは、2度引く
チャンネルボタンの下でいったん止まり
ますので、もう1度引いてください。

- リモコンボックスを使用
して、紛失防止用に壁掛
け収納できます。



照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

◎必ず壁スイッチを設けてください。☞上記「ご使用上に関するお知らせ」参照

1 天井についている配線器具を確認する

天井に右記のような配線器具が付いている場合、
取り付けできます。

→ 2 の作業へ進んでください。

右記以外の配線器具の場合、または、配線器具が
設置されていない場合は取り付けできません。

- ◎ローゼットへの取り付けで取付金具(ハンガー)部に既設
器具などのネジが付いている場合は取り外してください。
- ◎販売店、工事に配線器具の取り替え、取り付けを
ご依頼ください。
- ◎工事には資格が必要です。

天井からの出しりが 22 mm の配線器具

丸型フル引掛 シーリング WG5005 WG5015	丸型引掛 シーリング WG4000 WG4420 WG4425 WG1500
フル引掛 ローゼット WG6005	角型引掛 シーリング WG1000

天井からの出しりが 11 mm の配線器具

引掛埋込ローゼット WG6000 WG6420 WG6130
引掛埋込ローゼット(ハンガーなし) WG6001WK

2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける

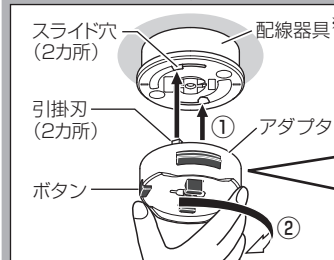
- ①位置を合わせる
引掛刃(2カ所)を配線器具のスライド穴に入れる
 - ②カチッと音がするまでアダプタを右に回して取り付ける
- 確認 ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する



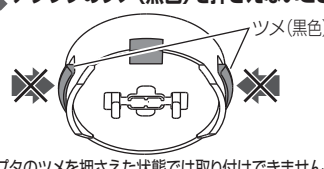
警告



アダプタは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。



✕ アダプタのツメ(黒色)を押さないこと



※: 代表例を表示しています



アダプタに本体を押し上げて取り付ける

- ① 本体中心にセンターパッドが取り付けいていないか確認する
→取り付けいている場合は、取り外す
(☞ 2ページ「器具を底板から取り外す方法」参照)
- ② アダプタに本体の穴を合わせて押し上げる
- ◎ 配線器具により本体の取付位置が異なります。
右記を参考に押し上げてください。
- ◎ 本体を水平にし、均等に押し上げてください。
- ◎ 器具裏面の黒スポンジは取り外さないでください。
本体の固定ができなくなり簡単に回転します。

確認

本体を押し上げてもアダプタに取り付かない場合は、アダプタが正しく取り付けられていません。

→取り付けできない場合は、

- (1) アダプタを外す

(☞ 下記「照明器具を取り外す」手順 3 参照)

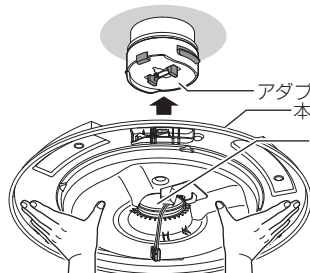
- (2) 再度、手順 2 を行う



警告



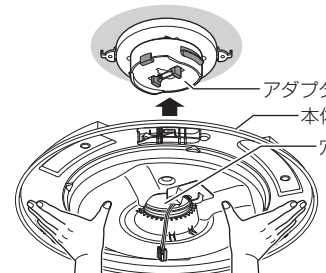
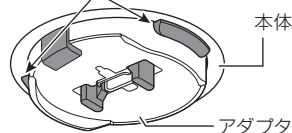
本体は確実に取り付ける
破損して感電のおそれがあります。



カチッ、カチッと2度、音がするまで押し上げる

アダプタの本体取り付け位置

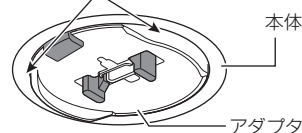
アダプタのツメ(黒色)が両方見える



カチッと1度、音がするまで押し上げる

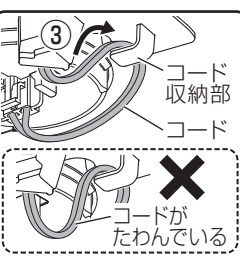
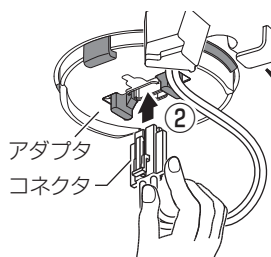
アダプタの本体取り付け位置

アダプタのツメ(黒色)が両方見えない



コネクタをアダプタに差し込む

- ① 本体がグラグラしていないか、簡単に回転しないか確認する
- ② コネクタをアダプタに確実に差し込む
- ③ コードがたわまないようにコードをコード収納部に引っ掛ける

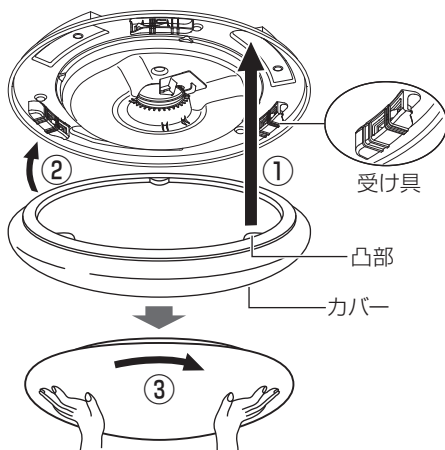


確認

- コネクタが差し込めない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→差し込めない場合は、上記手順 3 に戻る。
- 引っ張って、コネクタが外れないことを確認する。
- 本体がグラグラしている状態や簡単に回転する状態でコネクタを差し込んだ場合は、コネクタを外して(☞ 下記「照明器具を取り外す」手順 1 参照) 本体を押し上げる(☞ 上記手順 3 参照)

カバーを取り付ける

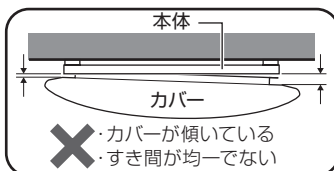
- ① カバーの凸部を本体の受け具と受け具の間に合わせる
- ② カバーを持ち上げる
- ③ カバーを回転が止まるまで右に回す(回転角度は、最大で約110度)
- ④ カバーが右に回転しないことを確認する



確認

- カバーが1回転しても取り付けできない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→取り付けできない場合は、
(1) コネクタを外す(☞ 下記「照明器具を取り外す」手順 1 参照)
(2) 本体を押し上げる(☞ 上記手順 3 参照)
(3) コネクタを差し込む(☞ 上記手順 4 参照)
(4) 再度、手順 5 を行う

- カバーが傾いていないか、すき間が均一になっているか確認する。
→カバーが傾いたり、すき間が均一でない場合は、均一でない場合は、カバーの凸部が受け具にはまっていない可能性があります。
カバーを左に回して外し、再度、手順 5 を行う



警告



本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付ける
破損して感電のおそれがあります。



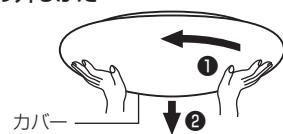
注意



カバーは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

カバーの外しかた

- ① カバーを左に約20度回す
- ② カバーを外す



確認

- カバーが1回転しても取り外せない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→取り外せない場合は、
本体を押さえながらカバーのみを左に回して外し
本体を正しく取り付け
(☞ 左記 確認 手順(1)~(3)参照)

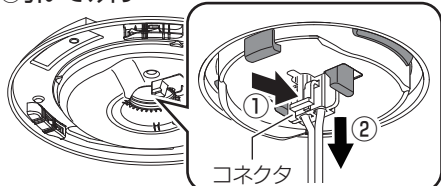
照明器具を取り外す

安全のため、電源を切ってから行ってください

1

コネクタを外す

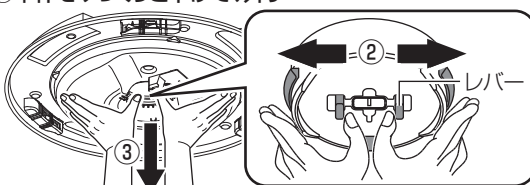
- ① つまみながら
- ② 引いて、外す



2

本体を外す

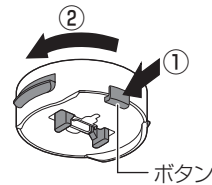
- ① 本体が落ちないようにしっかりと支え
- ② レバーを矢印の方向(左右)に広げたま
- ③ 本体をゆっくりと下げて、外す



3

アダプタを外す

- ① ボタンを押しながら
- ② 左に回す



各部のはたらき

リモコン受信器(本体)

リモコン受信部

リモコンからの信号を受けます。傷つけたり、汚したりしないでください。

リモコン

送信のしかた

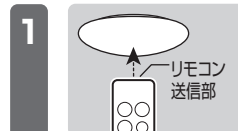
必ず「リモコン送信部」を器具に向けて操作してください。

リモコン送信部

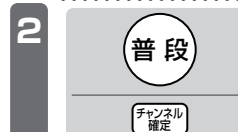
傷つけたり、汚したりしないでください。

■リモコン操作時の音を消す方法

壁スイッチをONにして30秒以内に下記の操作を行ってください。



リモコンのフタをスライドさせて「リモコン送信部」を器具に向ける



リモコンの「普段ボタン」と「チャンネル確定ボタン」を同時に押す

メモ リモコン操作時の音を鳴らす場合は、上記の操作をもう一度行ってください。

消灯ボタン

常夜灯ボタン(蓄光)

常夜灯が明暗ボタンで調節した明るさで点灯(初期設定:明るさ100%)
◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

☞4ページ「常夜灯を点灯する」参照

明暗ボタン

LED(100%~約5%)、常夜灯(6段階)の明るさを調節
☞4ページ「あかりを切り替える」参照

「常夜灯を点灯する」参照

チャンネル確定ボタン

チャンネル(1~3)の設定を確定
☞5ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

フタ

フタをスライドさせて、チャンネル切替を行います。

※: K(ケルビン)とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

あかりをつける

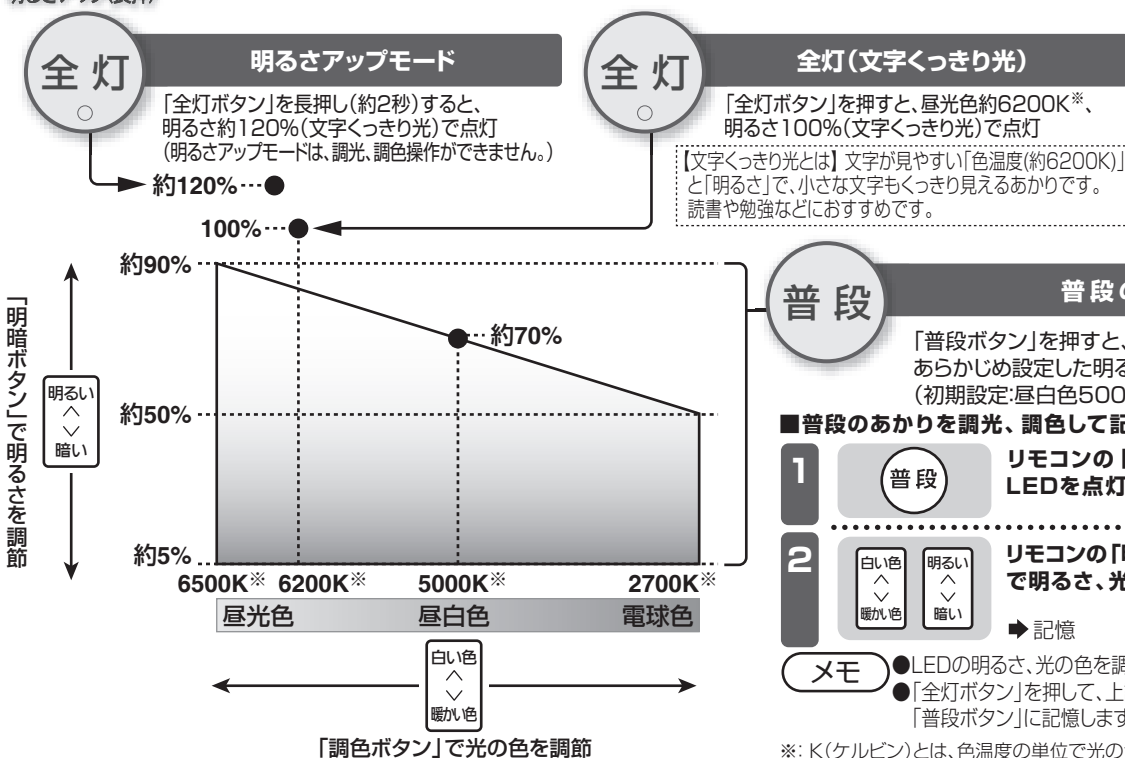
あかりを切り替える

壁スイッチはONの状態にしてください

リモコンの「普段ボタン」、「全灯ボタン」、「全灯ボタン(長押し)」であかりの切り替えができます。

リモコンの「明暗ボタン」、「調色ボタン」で明るさ、光の色を調節できます。

明るさアップ(長押し)



常夜灯を点灯する

常夜灯点灯時に調光操作を行うと、その明るさを記憶します。

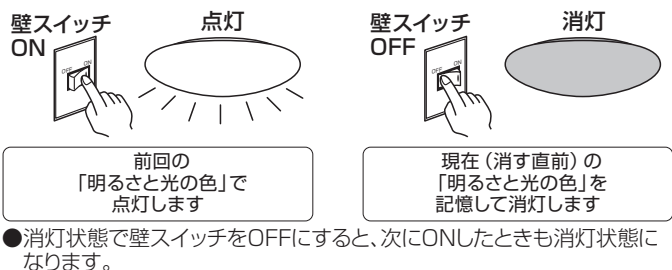
- 1 常夜灯 リモコンの「常夜灯ボタン」を押し、常夜灯を点灯させる
 - 2 明るい 暗い リモコンの「明暗ボタン」で常夜灯の明るさを調節する
- メモ ●6段階の明るさを調節できます。
●再び左記の操作を行うまでは、記憶した明るさで点灯します。
●常夜灯は調色できません。



あかりをつける

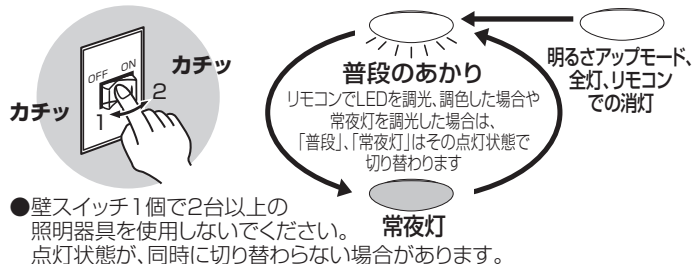
壁スイッチで照明器具を操作する

■ 点灯・消灯する



■ 点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く（約1秒以内）OFF→ONすると点灯状態が切り替わります。ただし、明るさアップモード、全灯には切り替えできません。



リモコンの便利な使いかた

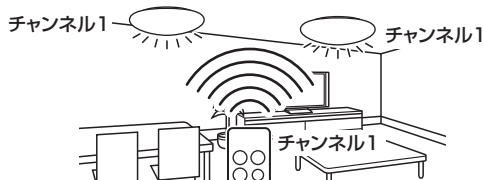
複数のリモコン照明器具を操作する

照明器具のチャンネルを変更できます

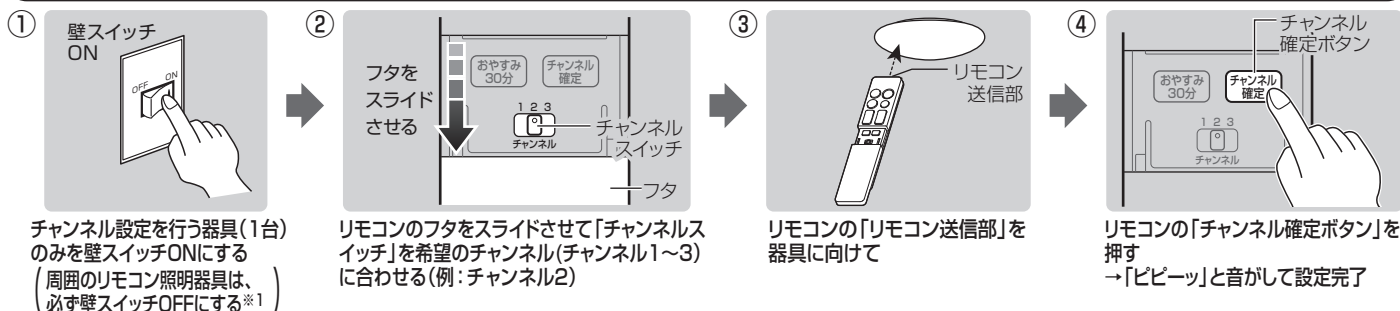
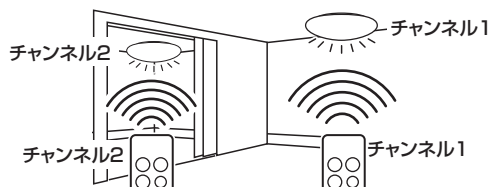
リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。また、リモコンで器具を操作できない時は、チャンネル設定が正しくない場合があります。

チャンネル設定でできること

- 複数の器具を同時に点灯できます。
○器具間の距離やリモコン操作の方向により、同時に点灯しないことがあります。
(例)一部屋に2台のリモコン照明器具がある場合



- 近くの器具を別々に点灯できます。
(例)隣室にもリモコン照明器具がある場合



メモ

本製品以外の照明を操作する場合は、チャンネル設定方法が異なります。ご使用の照明器具の取扱説明書をご覧ください。
※1:周囲のリモコン照明器具が壁スイッチONの場合、その器具もチャンネルが切り替わることがあります。

おやすみタイマーの使いかた

おやすみタイマーをONにすると、30分後に自動消灯を行います。

■おやすみタイマーをOFF/ONにする

おやすみ
30分

リモコンのフタをスライドさせて「リモコン送信部」を器具に向け、リモコンの「おやすみタイマーボタン」を押す



メモ

- リモコンでの消灯時でも、「おやすみタイマー」は、ONされます。(壁スイッチがOFFの場合は、「おやすみタイマー」はONされません。)
- 「おやすみタイマー」がONのまま点灯させた場合、「おやすみタイマー」をONにした30分後に消灯します。

お手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを行ってください。ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。
- 電池は半年を目安に取り替えてください。

◎付属の乾電池は、最初に使用するために用意しているもので、半年に満たないうちに消耗する場合があります。

確認 シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。



仕様

保証書またはカバーのラベルをご参照していただき、品番にチェックをしてください。

品番	使用電圧	周波数	消費電力		入力電流
□ LGC21104	AC 100 V	50/60 Hz共用	33.1W 明るさアップ時(全灯時:27.6W)	リモコンOFF時(待機時状態) 1W以下	0.34A 明るさアップ時(全灯時:0.29A)
□ LGC31104			38.4W 明るさアップ時(全灯時:32.0W)	常夜灯のみ 約1W	0.39A 明るさアップ時(全灯時:0.33A)

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。) 光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現 象	考えられる原因	処 置	参照ページ
本体が取り付けかない	アダプタが正しく取り付けしていない	①アダプタを外し ⑤ 3ページ ③ ②再度、アダプタを取り付ける ⑤ 2ページ ②	
点灯しない	コネクタが確実に差し込まれていない	①コネクタを一度外し、..... ⑤ 3ページ ① ②本体を押し上げてから ⑤ 3ページ ③ ③コネクタを再度、差し込む ⑤ 3ページ ④	
	壁スイッチがOFFになっている、または、リモコンで消灯にして壁スイッチをOFFにしていた	壁スイッチをONにする、または、壁スイッチを素早くOFF→ONにする	⑤ 5ページ「壁スイッチで照明器具を操作する」
勝手に点灯する	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき、点灯状態が切り替わった可能性がある	壁スイッチをOFFにする リモコンもしくは壁スイッチ操作で点灯モードを切り替える	— ⑤ 4~5ページ「あかりをつける」
勝手に消灯する	「おやすみタイマー」がONになっていた	「おやすみタイマー」をOFFにする(「おやすみタイマー」で消灯すると「おやすみタイマー」はOFFされます)	⑤ 5ページ「おやすみタイマーの使いかた」
リモコンで操作できない	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる	⑤ 2ページ
	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	⑤ 「各部のなまえと付属部品」
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルを変更して操作する	⑤ 5ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」
	他の機器(例えば、スマートフォン・タブレット、3Dテレビなど)から出る赤外線の影響により、リモコンが反応しにくくなっている	他の機器を照明器具から離す、照明器具に対する向きを変える、または電源を切る	—
調光、調色操作ができない	「明るさアップモード」になっている	リモコンもしくは壁スイッチ操作で「普段」に切り替える(「明るさアップモード」は、調光、調色操作ができません)	⑤ 4~5ページ「あかりをつける」
リモコン操作時にちらつく	調光、調色動作をしている	調光(下限付近)、調色動作時、ちらつく場合がありますが異常ではありません。調光、調色動作が終わるとちらつきも止まります。	
点灯状態が勝手に切り替わる	電子ブロックが異常動作状態になっている	壁スイッチをONにして30秒以内に下記の①~③の操作を行ってください。 ①リモコンの「フタ」をスライドさせる ②「リモコン送信部」を器具に向ける ③リモコンの「チャンネル確定ボタン」と「消灯ボタン」を同時に押す(「ビッ」と音がして、常夜灯が点灯します) ●この操作を行うと、器具の初期設定に戻りますので、下欄の「上記の処置を行っても現象が続く場合」の②を行ってください。 また、記憶させていた普段のあかり、常夜灯の点灯状態も初期設定に戻りますので、設定をしておいてください。	
「ビビビビビビ」と音がした後に、「消灯」する	電子ブロックが故障している	電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください	

上記の処置を行っても現象が続く場合

- ①電源をいったん切り、約20秒以上経ってから再び電源を入れる
②器具のチャンネルを変更する ⑤ 5ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは...

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電 話 () ー
お買い上げ日 年 月 日

- 保証期間中は、保証の規定に従って出張修理いたします。
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

*修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

- アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口(保証書内在中)にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは...

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

- 製 品 名 住宅用照明器具
- 品 番 5ページ「仕様」をご参照ください。
- 故 障 の 状 況 できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、LED電源・LEDユニットについては5年間です。

*保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 6年

*当社はこの照明器具の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。

本体の修理対応

LGC31104は本体を分解して部品交換を行うことはできませんので、不点などの故障が発生した場合は、修理対応用の部品(本体完成品)との交換になります。

パナソニック株式会社 ライティング事業部

〒571-8686 大阪府門真市門真1048 © Panasonic Corporation 2021

LGC21104-T3A

N0421-00

